

令和5年7月

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会・日本臨床耳鼻咽喉科医会
会員各位

一般社団法人日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会
理事長 村上 信五
学校保健担当理事 川寄 良明
学校保健委員会委員長 坂 哲郎
一般社団法人日本臨床耳鼻咽喉科医会
会長 福與 和正
医療対策担当副会長 野上 兼一郎
学校保健担当理事 朝比奈 紀彦

「今後の耳鼻咽喉科学校健診の在り方について PartⅢ」 に関するアンケート調査のお願い

過去2年間に渡り、日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会・日本臨床耳鼻咽喉科医会会員を対象に「今後の耳鼻咽喉科学校健診の在り方について」のアンケート調査を行ってきました。その結果、耳鼻咽喉科学校健診に関する様々な問題点や課題が浮き彫りになり、それぞれの地域・各学校医によって考え方や対応が異なることも再確認しました。令和3・4年度日耳鼻・臨床耳鼻科医会学校保健全国代表者会議では、アンケート調査結果について報告するとともに、疾患（所見）名と判定基準の見直し・言語異常のスクリーニングの重要性などについて協議しました。さらに協議の中で耳鼻咽喉科学校健診の必要性和「やりがい」について言及し、耳鼻咽喉科学校医であることを自覚したうえで誇りと責任を持って学校医活動を行うことを提言しました。

またアンケート調査と協議の結果を踏まえ、日耳鼻学校保健委員会が2016年に発行した「耳鼻咽喉科健康診断マニュアル」の見直しが必要であると考えています。現在マニュアル改訂に向けた検討と情報収集を進めていますが、耳鼻咽喉科学校健診に携わる先生方のご意見は貴重な資料となります。

このような状況のもと、今年度も耳鼻咽喉科学校健診の在り方についてアンケート調査を行います。今年度は耳鼻咽喉科学校健診の疾患（所見）名についての再確認、学校健診の精度向上と効率化のために重要な「保健調査」、そして学校健診のやりがいを見いだすためにも不可欠な「事後措置」について、学校健診を担当されている会員の先生方から率直なご意見を伺いたいと思います。今回も学校医または健診医として耳鼻咽喉科学校健診を担当されている先生方がアンケートの対象です。

アンケートの調査結果については、令和5年度日耳鼻・臨床耳鼻科医会学校保健全国代表者会議（令和6年1月28日（日）開催予定）において協議する予定です。つきましては下記のGoogleフォームから回答に協力していただきますようお願いいたします。回答時間は10～15分程度、締め切りは令和5年8月31日（木）です。なおご不明な点がございましたら、日耳鼻事務局 増田までお問合せください。

QRコード



URL <https://forms.gle/icPwtLAJNsf5USj7>

<問い合わせ先>

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会事務局

学校保健担当 増田

Tel: 03-3443-3085

E-mail: shomu@jibika.or.jp